

388.8V
リチウムイオン

凡例

	エアバッグ		貯蔵ガスインフレーター		シートベルトプリテンショナ		SRSコントロールユニット		歩行者保護アクティブシステム
	自動ロールオーバープロテクションシステム		ガスストラット / プリロードスプリング		高強度ゾーン		特別な注意が必要なゾーン		
	バッテリー、低電圧		超コンデンサ、低電圧		フューエルタンク		ガス タンク		安全バルブ
	高電圧バッテリーパック		高電圧電源ケーブル / コンポーネント		高電圧の接続解除		ヒューズボックスにより高電圧システムを無効化		超コンデンサ、高電圧



1. 識別/認識

I-PACE EV モデルはすべて、車両に取り付けられた次のバッジおよびデカールで識別できます。エンジンから音が聞こえなくても車両が停止しているわけではありません。車両が完全に停止するまで、サイレントムーブメントまたは瞬時の再始動を可能とする機能が作動しています。適切な PPE を着用します。



I-PACE

2. イモビライゼーション/スタビライゼーション/リフティング

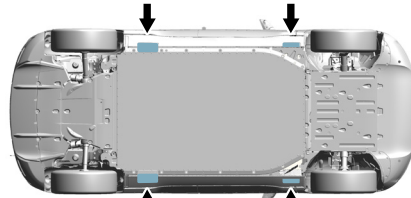
車両のイモビライゼーション

1. 車輪に輪止めをします。
2. 「P」(パーキング)スイッチを押すと、トランスミッションが「P」(パーキング)に入り、EPB がかかって車両が安全な状態になります。



車両リフティングおよびジャッキアップ。

車両のリフティングまたはジャッキアップを行うときは、必ず、下図に記載されているジャッキアップポイントを使用してください。

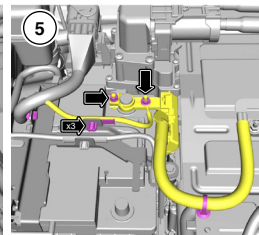
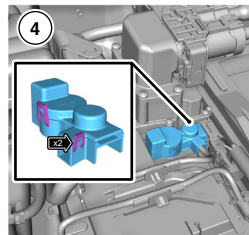
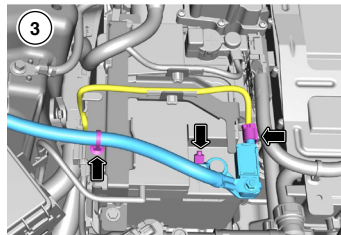
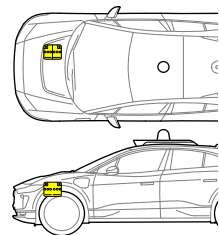
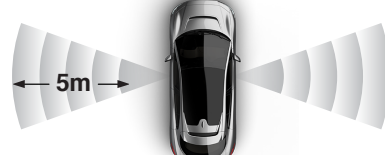


リフティング装置が高電圧バッテリーや他の高電圧機器に接触しないようにしてください。

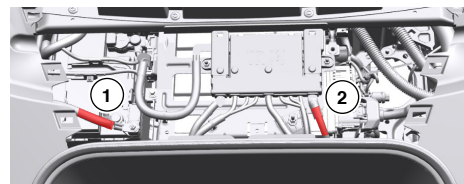
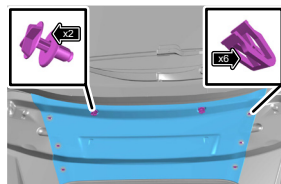
3. 直接的な危険の回避/安全規則

スタートアップバッテリーの接続解除

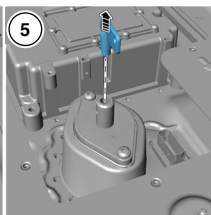
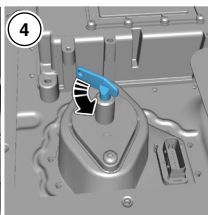
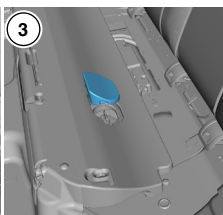
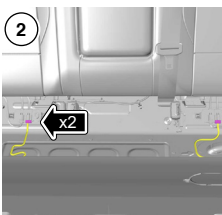
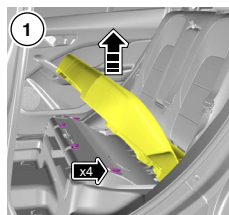
1. イグニッションをオフにします。
2. 車両からすべてのスマートキーを取り外し、5メートル以上離れた場所に保管します。
3. コネクタの接続を外す。ワイアハーネスクリップを外す。クランプナットを緩めます。スタートアップバッテリーグラウンドケーブルを取り外します。
4. スタートアップバッテリーのプラス端子カバーを取り外します。
5. 3個のクリップを外します。図示のとおり、右ナットを取り外します。図示のとおり、左クランプナットを緩めます。スタートアップバッテリーのプラス端子を外します。



12V システムの作動解除図に示すように、ケーブルを切断します。



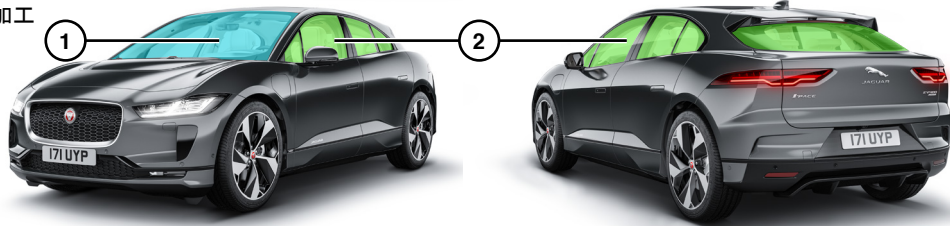
高電圧システム 1 の作動解除します。 リヤシートベースをクリップ 4 個から外します。2. コネクタ 2 個の接続を外し、シートベースを取り外します。3. アクセスパネルを取り外します。4. キーを反時計回りに回します。5. キーを取り外す。





4. 乗員へのアクセス

- 1. ラミネート加工
- 2. 強化



ドアが解錠されてハンドルが格納位置にある場合にドアを開くには、次の手順を実施する。**1.** ドアハンドル (1) の前端を押して、ハンドルの後方を露出させる。**2.** ハンドルの後方 (2) を引いてドアを開く。



5. 蓄積されたエネルギー/液体/気体/固体

	バッテリー						12 V
	高電圧バッテリーパック						388.8 V



バッテリーパックからクーラントが漏れていると、熱暴走の危険性があり不安定になることがある。サーマルイメージングカメラでバッテリーパックの温度を点検する。



6. 火災発生時

電気自動車またはハイブリッド車両に故障、損傷、または火災が発生した場合は、以下の点に注意する。



1. 高電圧バッテリー、サブシステム、およびコンポーネントが通電していて完全に帯電していることを常に念頭に置くこと。
2. 高電圧バッテリー、ケーブル、および露出した電装品に触れると感電するおそれがある。

高電圧 (HV) システムを巻き込まない軽微な車両火災は、通常の消化方法で対処することができる。



火災に巻き込まれた、または高熱にさらされた EV バッテリーは有毒なガスを発生する。これらのガスには以下が含まれる。

・硫酸・炭素酸化物・ニッケル・リチウム・銅・コバルト

作業者は完全な PPE および呼吸器具により自身を保護する必要がある。



PHEV バッテリーまたは HV システム内のコンポーネントが火災または高熱の影響を受けた場合、HV システムは安全ではないものとして取り扱う必要がある。したがって十分な PPE を着用し、車両との接触を避ける必要がある。



火災または高熱にさらされた部分は大量の水を使用して処理する必要がある。十分な水の供給が得られない場合は HV システムの消火を試みないこと。

HV システムは独自のクーラント (グリコール系クーラント) を使用している。システムが損傷した場合、このオレンジ色のクーラントがバッテリーまたは周辺のコンポーネントから漏れ出る可能性がある。

バッテリー火災は、消火までに最大 24 時間を要することがある。周辺を保護しながら、バッテリーが燃えるままにまかせる方法も考慮する。



PHEV バッテリーの温度の監視には赤外線カメラを使用すること。

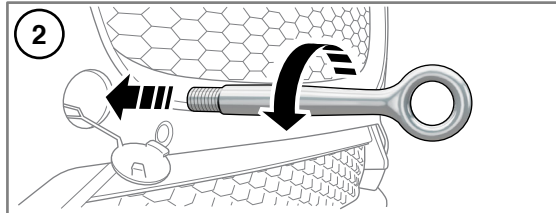
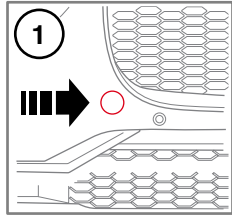


7. 浸水している場合

完全または部分的に水に浸かったバッテリー電気自動車 (BEV) は、他の車両と同じ方法で取り扱うことができる。車両ボディにリスクが増していることはない。BEV の回収を行う作業者は、高電圧 (HV) システムの電源遮断が適切に実施されるまで、所管の行政機関が定める適切な PPE を着用する必要がある。



8. けん引/輸送/保管



フロントけん引フック

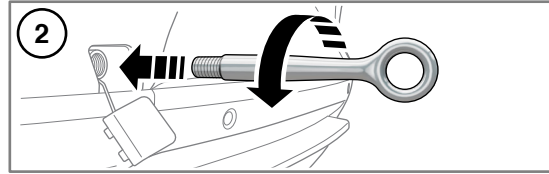
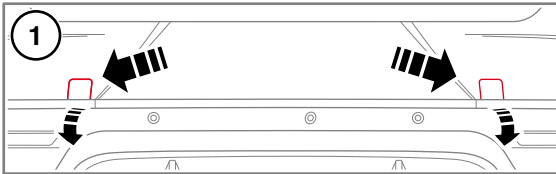
1. フロントバンパのアクセスパネルの下端を押して固定クリップを外す。カバーの上端を押し込んでからカバーを手前に引いて外す。
2. けん引ポイントをフロントバンパに通して位置を合わせる。けん引フックをけん引ポイントに反時計方向に完全にねじ込んで固定する。



リヤけん引フック

車両のリヤ側のけん引ポイントは、舗装道路での回収以外に使用してはならない。これを他の目的に使用した場合、車両の損傷および重大な事故につながるおそれがある。

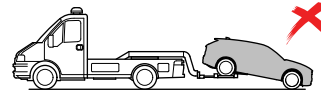
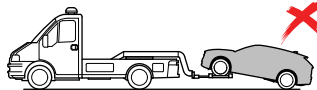
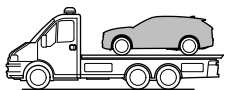
1. リヤバンパのアクセスパネルの右端を押し、固定クリップを外す。カバーの上端を押し込んでからカバーを手前に引いて外す。
2. けん引ポイントをリヤバンパに通して位置を合わせる。けん引フックをけん引ポイントに反時計方向に完全にねじ込んで固定する。



回収方法

車両の回収や輸送を行う場合は、専用に設計された運搬車またはトレーラの使用が推奨される。車両の回収や移送は必ず適切な有資格者が行い、車両は確実に固定すること。4輪すべてを接地させた状態、または前輪または後輪を吊り上げた状態で、けん引してはならない。車両に深刻な損傷を与えるおそれがある。

回収業者は、回収を開始する前にエマージェンシパーキングリリースを作動させる必要がある。エマージェンシパーキングリリースを作動させないと、車両に深刻な損傷を与えるおそれがある。



9. 重要な追加情報

詳細については、TOPiX <https://topix.jaguar.jlrext.com/> を参照すること。

10. 使用されているピクトグラム



概要警告



警告、電気



爆発性



腐食性



人体への有害性



急性毒性



可燃性



水で消火



赤外線カメラ